

市政記者クラブ 様

健康福祉局 高齢福祉部 高齢福祉課
担当：石原、福田（電話：972-2616）
中区役所保健福祉センター福祉部福祉課
担当：可児、野崎（電話：265-2320）

認知症の日（9 月 21 日（日））に係る取り組みについて

市民の間に広く認知症についての関心と理解を深めるため、令和 7 年 4 月に改正した本市認知症条例において「認知症の日」を新たに設け、下記のとおり各種取り組みを行いますのでお知らせします。

記

1 取り組み内容

（1）認知症の日イベント「なごやオレンジフェス 2025～「認知症の日」に考える親のこと、自分のこと～」の開催

これまで認知症に関心を持つ機会が少なかった 20 歳代から 50 歳代の学生や働き世代に向けて、認知症を自分事として感じ、認知症についての関心と理解を深めてもらうことを目的として、イベントを開催します。

（日時）令和 7 年 9 月 21 日（日）13 時 00 分から 16 時 00 分まで

（場所）ナディアパーク 2 階アトリウム（イベントスペース）

（内容）①俳優・佃典彦氏によるトークショー（司会：清里千聖）



- ②学生ボランティア協力のもと、認知症に関するクイズラリー
- ③中日新聞東京本社との協力による昔の新聞記事を活用した新聞回想法の体験
- ④企業提供ブース
- ⑤本市施策ブース（気軽にできる認知機能自己検査の実施等）

（広報）8/29(金) 市政記者クラブ資料提供
9/ 1(日) 中日新聞市民版に告知広告掲載
9/ 1～20 WEB・SNS 等掲出
10 月上旬 中日新聞市民版に載録広告掲載

（スケジュール概要）

13 時 00 分	イベント開始 トークショー整理券配布開始 クイズラリー、新聞回想法受付開始
14 時 00 分～15 時 00 分	佃典彦氏トークショー
16 時 00 分	イベント終了

(2) ライトアップ

市役所本庁舎時計塔および中部電力 MIRAI TOWER をオレンジ色にライトアップします。

(日時)

市役所本庁舎時計塔：令和7年9月21日（日）18時00分から22時00分まで

中部電力 MIRAI TOWER：令和7年9月21日（日）17時30分から22時00分まで

オレンジ色の由来

認知症の人やその家族の応援者である「認知症サポーター」には、「認知症の人を応援します」という意思を示す目印として、「オレンジリング」というリストバンドが渡されます。

これは、江戸時代の陶工・酒井田柿右衛門が夕日に映える柿の実の色からインスピレーションを得て作り出した赤絵磁器が、ヨーロッパにも輸出され世界的に高い評価を得たことを受けて、同じく日本初の柿色（＝オレンジ色）リングが世界のいたるところで「認知症サポーター」の証として認められればとの思いから作られたものです。

また、温かさを感じさせるオレンジ色は、「手助けをします」という意味をもつともいわれ、認知症の人やその家族の支援の象徴となっております。

(昨年度のライトアップ時の写真)



(3) 認知症啓発イベント「RUN 伴（ランとも）in 名古屋市中区」

オレンジ色のものを身に着けた認知症の人やその家族、支援者等が大須商店街から明治安田生命名古屋ビルまでの約2kmをウォーキング等で移動し、普及啓発を行います。

(日時) 令和7年9月21日（日）16時10分から18時00分まで

スケジュール概要：

16時10分	大須商店街ふれあい広場にてスタートイベント (中区広報大使OS☆Uによる「認知症にやさしいまち大須 取り組み宣言」、 大須太鼓保存会による大須太鼓の演奏)
16時35分	大須を出発 (小グループに分かれ、公共交通機関等も利用して各々ゴールへ移動)
17時40分	ゴール(明治安田生命名古屋ビル16階)到着予定

RUN 伴とは

認知症を生きる本人や家族、医療福祉関係者などが地域の住民や企業、商店などと一緒にタスキをつなぎながら走るまちづくりのイベントです。認知症の人と出会うきっかけがなかったためにマイナスイメージを持ってしまいがちな人々も、ゴールへ至る喜びや達成感を共有することを通じて、認知症の人も地域で伴に暮らす大切な隣人であると実感できることを狙いとしています。

このような RUN 伴という取り組みは現在、NPO 法人認知症フレンドシップクラブが管轄するまちづくりのツールとして位置付けられています。

(令和 6 年度の様子)



(4) 認知症の人による作品の展示

中部電力 MIRAI TOWER 内において、認知症の人が作成した作品（切り絵、押し花、絵画）を展示します。

(日時) 令和 7 年 9 月 17 日 (水) から令和 7 年 9 月 23 日 (火・祝) まで
平日は 10 時 00 分から 21 時 00 分まで (土曜は 21 時 40 分まで)

(場所) 中部電力 MIRAI TOWER 3 階 (3 階フロア中央壁面展示スペース)

(作品例)



2 問い合わせ

- (1) イベント、ライトアップ：健康福祉局高齢福祉部高齢福祉課
- (2) RUN 伴及び作品展示：中区保健福祉センター福祉部福祉課

認知症の日とは

1994年に「国際アルツハイマー病協会（ADI）」が世界保健機関（WHO）と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」、9月を「世界アルツハイマー月間」として制定し、この日を中心にアルツハイマー病の啓発を実施してきました。

制定の経緯は、1994年9月21日、スコットランドのエジンバラで第10回国際アルツハイマー病協会国際会議が開催され、会議初日の9月21日を「世界アルツハイマーデー」と宣言したものです。

日本においては、公益社団法人認知症の人と家族の会が中心となって、記念講演会の開催、啓発リーフレットの配布、自治体等の協力のもと認知症支援のオレンジ色に各所をライトアップする取組などにより、広く認知症への理解を呼び掛けてきました。

本市においても、令和7年4月1日に改正した「名古屋市認知症の人と家族が安心して暮らせるまちづくり条例」において、毎年9月21日を「認知症の日」、9月を「認知症月間」として規定しています。